

# 「堂々川;人も自然も生きている」

2022(令和4)年4月24日 堂々川ホタル同好会情報紙 2021年度第10号(創刊206号)

1. 4月17日の定例会は14人の参加で、砂留整備として砂留周囲の小木、小竹の伐採、猪が掘りあげた河原の球根植替え、道路脇のオオキンケイギク・タンポポモドキの除去や草刈りを実施した。役員渡辺さんは月の半分を鳶が迫砂留維持活動をしている
2. 堂々川ホタルの会長をこの4月末の会計年度で勇退します。17年間ありがとう!
3. 4月1日TV満点ママ番組で約10分電波に乗り、多くの視聴者からも反響大だった
4. 4月13日雨の夜、ゲンジボタルの幼虫が水から上陸開始し約2.5mの崖の8匹を発見
5. 渡辺文夫さんが中国新聞4月19日ピープル欄に掲載された
6. 猪被害は続き、1番、5番川原はピンクリボンも学習されて、囲いの中迄猪突猛進
7. 助成金応募が採択されセブン&イレブン殿から47万円強が入金になった
8. 福山東ロータリークラブ社会奉仕委員会殿が5月22日作業に来訪が決まる。
9. 御野小殿彼岸花の球根植栽来訪予定。コロナ禍の中3番砂留東の広場へ。日程調整中
10. 目で見る事例



鳶ヶ迫砂留整備



3番砂留整備



彼岸花植栽地整備



TV放映 DVD版



4月17日の会員



注意看板の下へ不法投棄 大胆不敵



猪被害場補修



源氏ボタルの上陸 光りながら



砂留周辺の木を伐採

11. 次回定例会 集合時間場所 5月15日(日) 8時00分~11時00分  
作業内容 2, 3番砂留整備・ゴミ拾い・イノシシの荒らした跡の整備・草刈り  
球根植栽の穴掘りと植栽

定例会はどなたでも参加できます。参加者は保険に入る為名簿にお名前を記入して!

12. 発行責任者・執筆者 堂々川ホタル同好会 会長 土肥 徳之

## ホタル同好会3代会長 この4月で勇退を決める

2021年度も10件以上の大きな成果を上げることができました・・・

昔を少し振り返れば、2004年会社を定年でリタイア後、福山市産業支援コーディネーターとしてのコンサル活動を途中止めしてまでも、国分寺参道で光るホタルに魅せられて堂々川の5番砂留でホタルを飛ばす試みを開始。2006年当時在籍していた民生委員のメンバーを中心に会を発足しました。一人作業から17年。今では福山でもトップレベルのホタルの舞を実現。不法投棄対策から植え始めた彼岸花の球根植栽、この活動には近郊の小学校が参加。

会では2022年福山城400年博市民企画事業に応募し採択され登録有形文化財の砂留の整備をする事で作業が進んでいます。堂々川の砂留は江戸時代に築造され古いものでは320年の歴史を刻んでいます。その砂留が2004年頃は草木に覆われ石垣は見え、河川敷はキジやタヌキの遊び場でした。5番川原や鳶ヶ迫砂留川原は公園にする計画もあったようですがバブルがはじけ途中止め状況でした。この状況を見逃さない人間たちのごみ捨て場と化し、2つほどの谷からは黒い水が流れ出ていたのです。このことは2018年ライフプランALPS 7月号に記事を書いていますので内容はそちらに譲ることにして。「ホタルと花と砂留と」のキャッチフレーズで約60人の会員と草刈り、ごみ拾い、地元の小学生が応援してくれた彼岸花の球根植え等、年毎に輪が広がって来ています。しかし猪が嫌がるはずの毒をもつ球根の彼岸花科の植物の球根は猪の学習により日干しにされ始めています。我々も研究し、ピンクのリボンを張ったり、夜間に光るライト、竹酢等をテストしましたが、インターネットに掲載の対策や人伝え対策は既に猪に知られて効果はほとんどない状態です。昨年堂々川中流域には会員の努力もあり1万人弱の観光客も有ったのに今は猪に負けている状態です。

私たちは、既に6冊の冊子を発刊し会報もこの号で206回を数えます。残念なことに遺跡・古墳・砂留の冊子を除いて全部絶版です。要望は多数ですが再発刊する元気はありません。

今後は福山大学生命工学部殿との共同で堂々川の自然を見守っていく予定です。特に植物ではガガブタ、昆虫ではイボタガ、ヘビトンボやニホンアカガエル、セトウチサンショウウオの保護に力を入れたいと思っています。次期役員の皆様よろしくお願ひします。

完



↑5番川原のホタル ↓大砂留の美



↑5番川原の彼岸花 ↓福山ブランド認定

